

0. ログイン	
・ログイン方法	2
・ボタンの説明	3
1. 材料データについて	
・材料データ作成の要否判定	4
・材料データの作成方法	5
2. 受領データを承認する方法	10
3. セミコンポーネントの作成(素材、半製品の場合)	
a. 弊社支給の材料または半製品を使用している場合	11
b. 自社で調達した材料を使用している場合	13
4. コンポーネントの作成(部品の場合)	
a. 弊社支給の部品を使用している場合	15
b. 弊社支給の半製品、材料を使用している場合	17
c. 自社で調達した材料を使用している場合	19
5. 材料の追加(めっき、塗装、接着等)	21
6. エラーチェック	23
7. データ送信	24
8. データ修正	
・修正の準備	25
・アプリケーションの修正方法	25
・「プロセスケミカルが存在形態」の回答	26
・送信の取り消し	27
9. 参考	
・雛形データから簡単に作成する方法	28

0. ログイン

・ログイン方法

①IMDSで検索します。



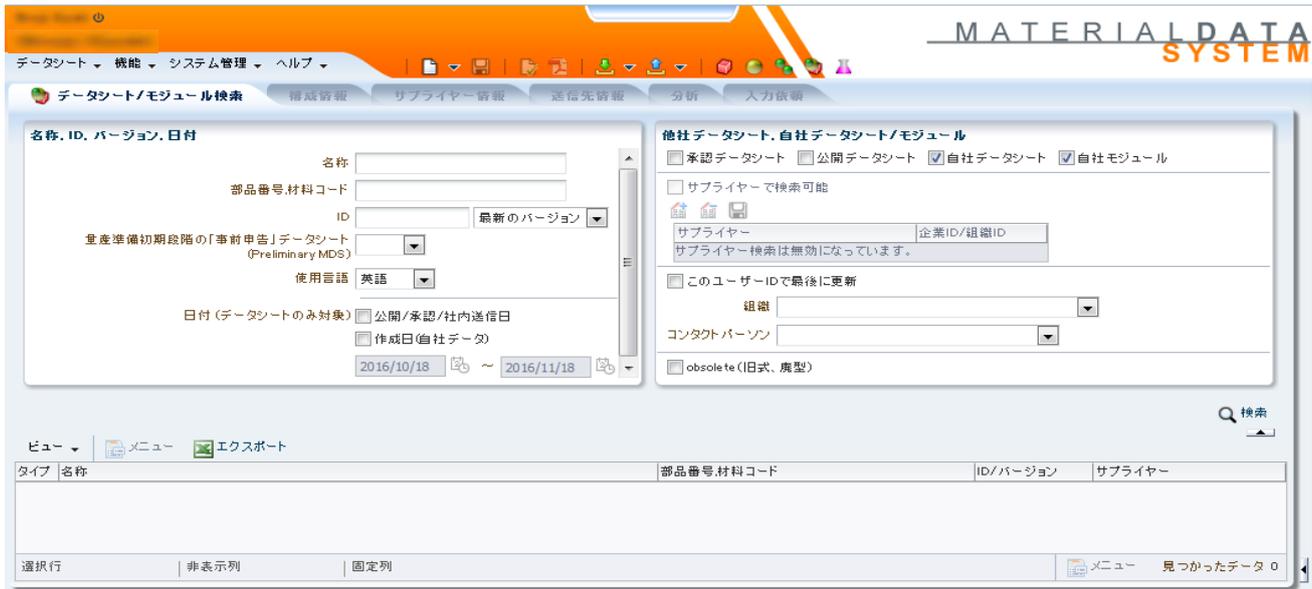
②ログインをクリックします。



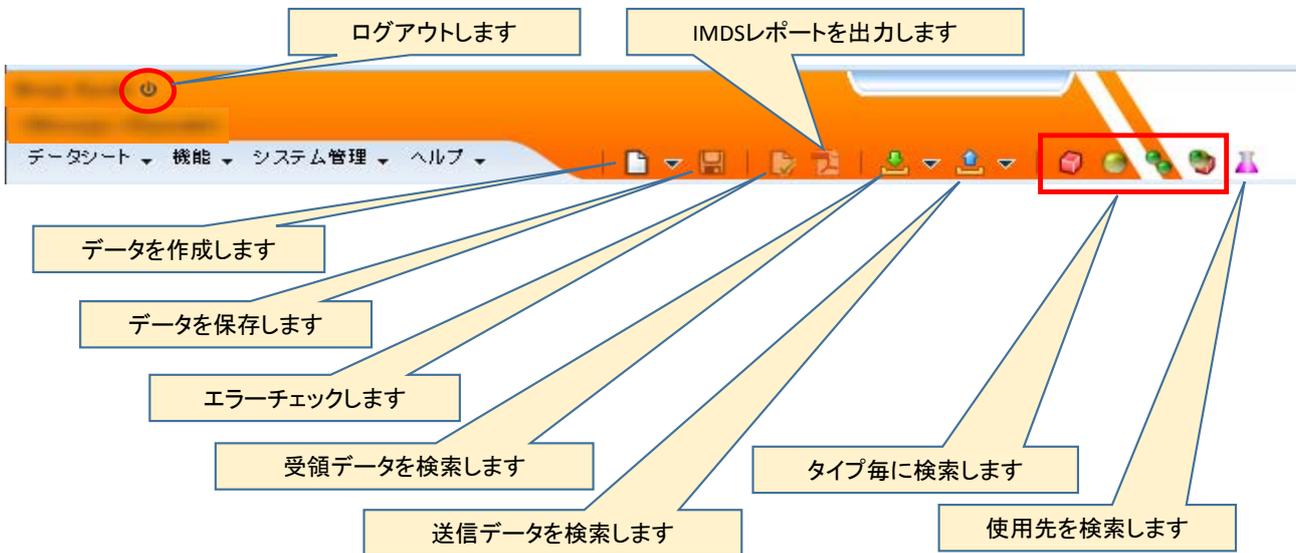
③ユーザーIDとパスワードを入力してログインをクリックします。(使用言語は日本語にします)



④初期画面(データシート/モジュール検索)が開きます。

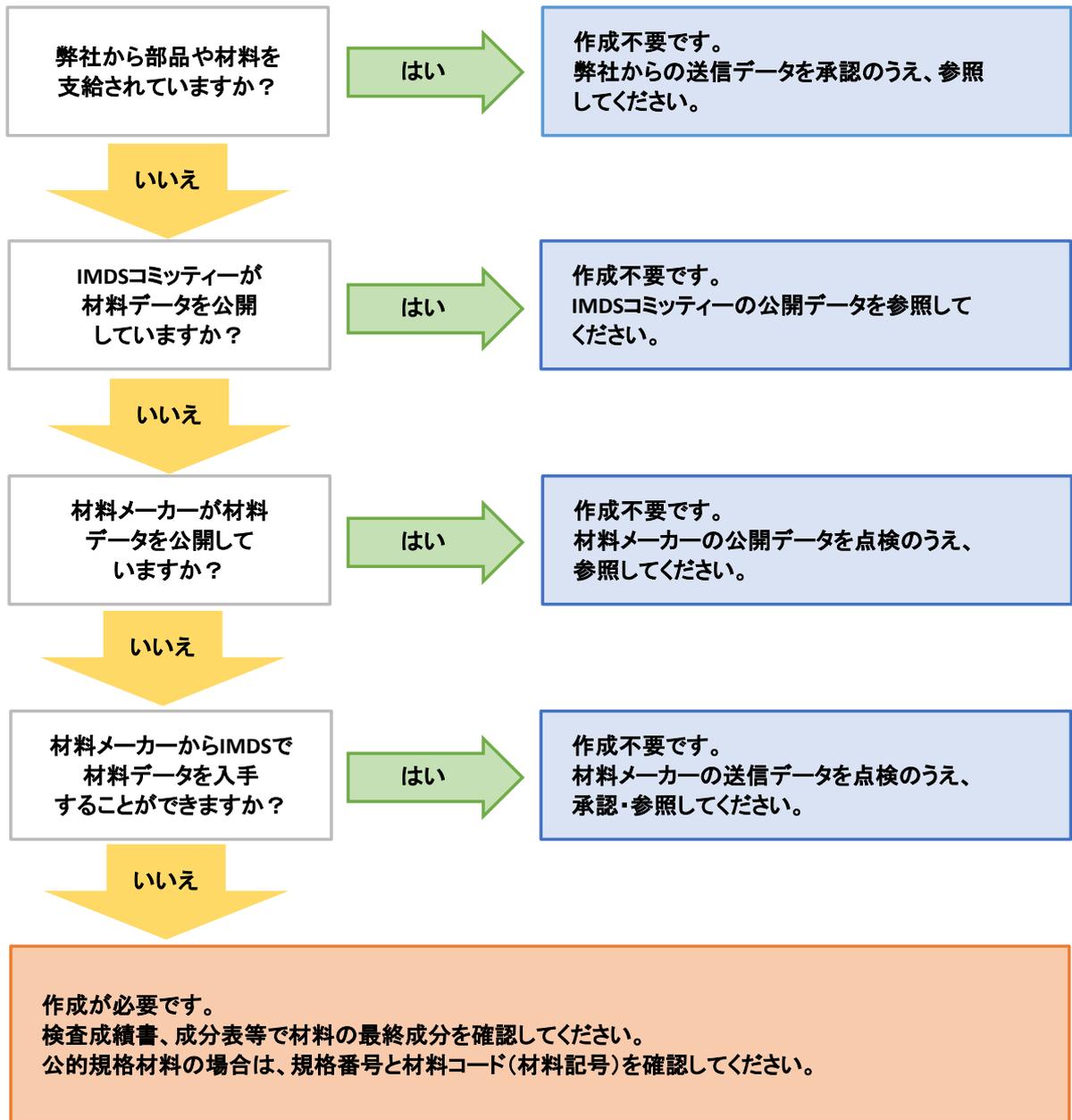


・ボタンの説明



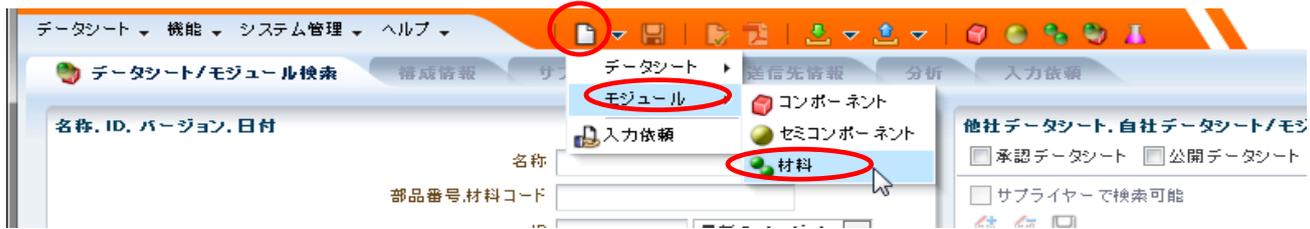
1. 材料データについて

材料データ作成の要否判定

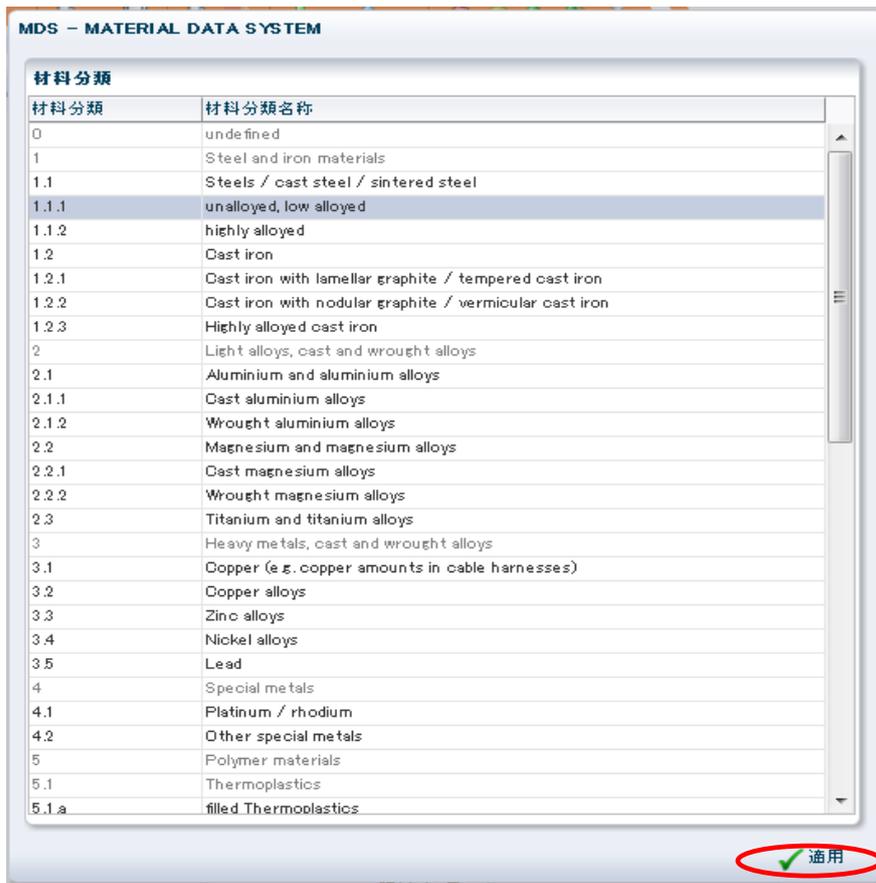


材料データの作成方法

①新規作成メニューで、モジュール→材料を選択する



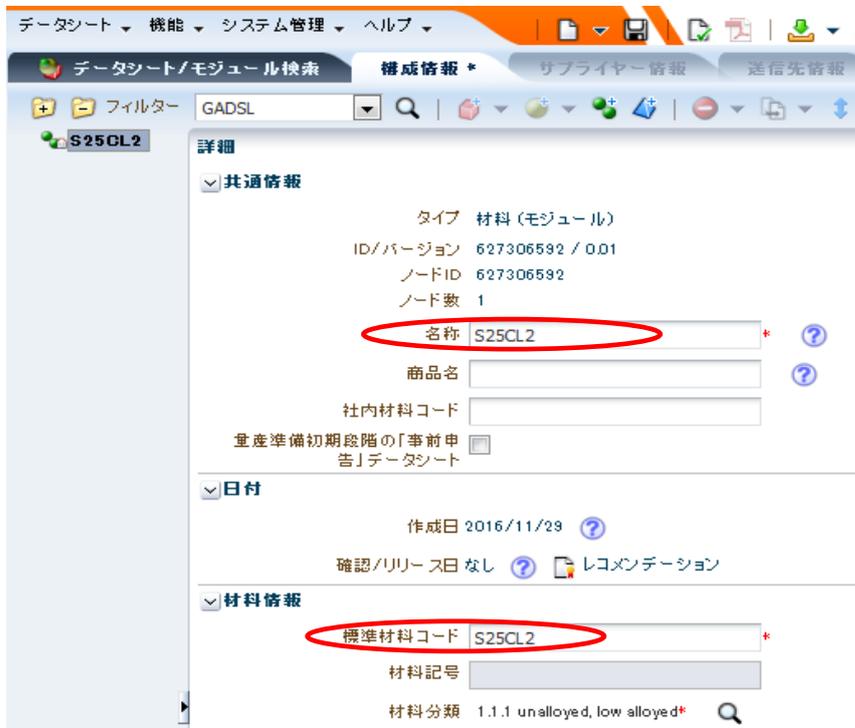
②材料分類を選択する(例:鉄鋼・低合金) →選び方はIMDSLレコメンデーション001aを参照



- ③新規の材料が作成されるので、材料規格で規定された材料名と標準材料コードまたは材料記号を入力する。

※公的材料規格が無い場合

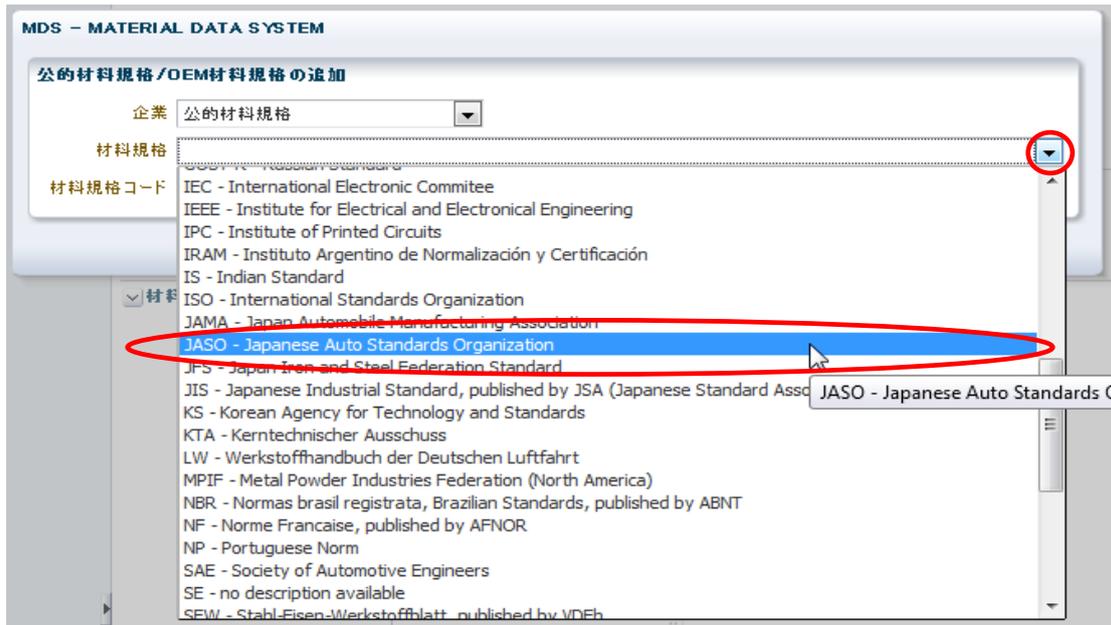
- ・材料名は材料分類が識別可能な、具体的な英語で表記します。
(例:銅合金:Copper alloy、低合金の鉄:Steel, low alloyed)
- ・標準材料コードや材料記号は空欄にしてください。
- ・手順④～⑥を飛ばして、手順⑦に進んでください。



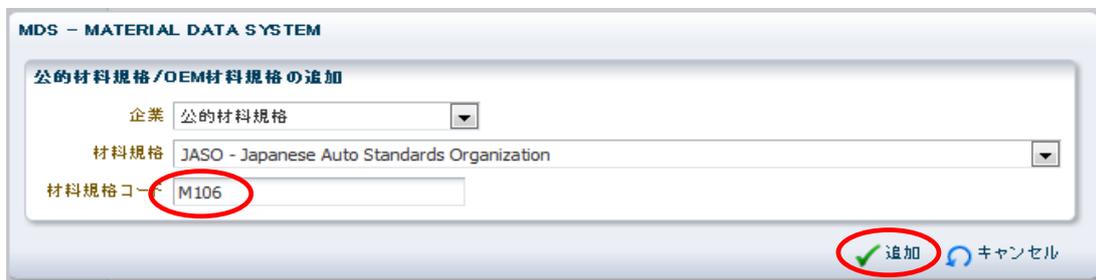
- ④公的材料規格を入力するため、プラスボタンをクリックする。



⑤材料規格の▼をクリックして、材料規格を選ぶ。



⑥材料規格コード(規格番号)を入力して、追加ボタンをクリックする。



※以下のように追加される。



⑦「参照化学物質の追加」をクリックする。

※化学物質と含有率は検査成績書(MILLシート)や成分表で確認する。



- ⑧名称やCASナンバーなどで化学物質を検索する（例:炭素(カーボン)）
- ⑨化学物質が見つかったら「適用」をクリックする。

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

検索条件

名称 / 別名 GADSL: 要申告 グループ

CAS No. GADSL: 禁止物質

EU-Index REACH-SVHC ?

EINECS-No.

検索

ビュー メニュー エクスポート

名称	CAS No.	EU-Index	EINECS-No.	別名	GADSL / SVHC
1,3-Dioxol-2-one	872-36-6	-	212-825-5	Carbonic acid, cyclic vinylene ester	-
1,3-Dioxolan-2-one, 4-ethyl-	4437-85-8	-	-	Carbonic acid, cyclic ethylene ester	-
2-((1-Amino-9,10-dihydro-4-hydroxy-9,10-dioxo-2-anthryloxy)eth	28173-59-3	-	248-882-8	Carbonic acid, 2-((1-amino-9,10-dihydro-4-hydroxy-9,10-	-
Ammonium bicarbonate	1066-33-7	-	213-911-5	Carbonic acid, ammonium salt (1:1)	-
Carbon	7440-44-0	-	231-153-3	C	-
Carbon black	1333-86-4	-	215-609-9	Pigment Black 7	-
Carbon black, hydroxy- and 4-sulfophenyl-modified, sodium salts	481066-70-0	-	419-250-0	Treated Carbon Black	-
Carbon fluoride	51311-17-2	-	257-131-3	-	-
Carbon Tetrabromide	558-13-4	-	209-189-6	-	P
Carbon-13	14762-74-4	-	-	Carbon-13C	-
Carbon-dioxide	124-38-9	-	204-636-9	-	-
Carbon-disulphide	75-15-0	006-003-00-3	200-843-6	-	-
Carbon-monoxide	630-08-0	006-001-00-2	211-128-3	-	-
Carbon-tetrachloride	56-23-5	602-008-00-5	200-262-8	Tetraform	P
Carbon-tetrafluoride	75-73-0	-	200-836-5	Methane, tetrafluoro	DP

メニュー 見つかったデータ 適用 キャンセル

- ⑩含有率を入力する。
※▼を押すと、固定値や残部の入力も選択可能

データシート 機能 システム管理 ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報 サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL S25CL2

0.0 - 0.2% Carbon

詳細

共通情報

タイプ 化学物質

名称 Carbon

C

ISO 1043-2

ISO 1043-4

CAS No. 7440-44-0

EINECS-No. 231-153-3

EU-Index -

GADSL分類 -

REACH-SVHC いいえ ?

数量と質量

含有率 範囲値 ▼

0 0.2

代表値 0.1%

化学物質グループ

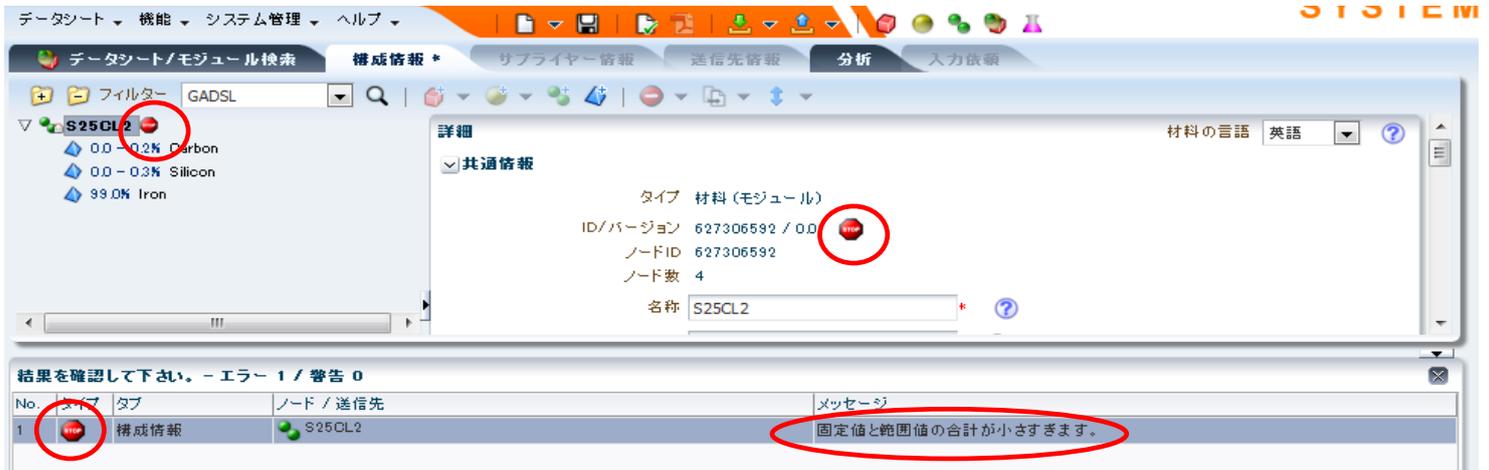
化学物質グループ -

- ⑪カーソル位置を材料に合わせて、2つ目以降の化学物質を追加する

⑫入力が終わったら、エラーチェックを実行する



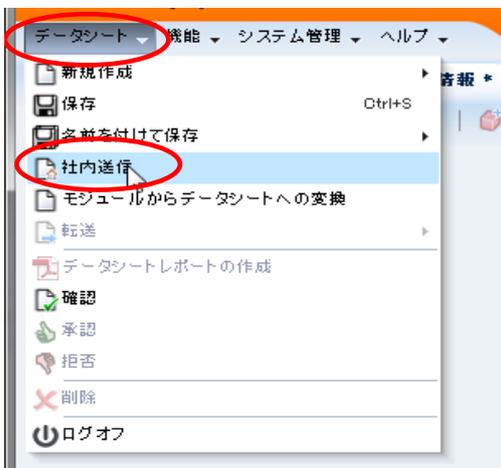
⑬チェック結果を確認し、エラーを修正する(例:含有率の合計が100%にならない)



⑭全て修正すると以下の結果が表示される。



⑮データシート→社内送信を実行する

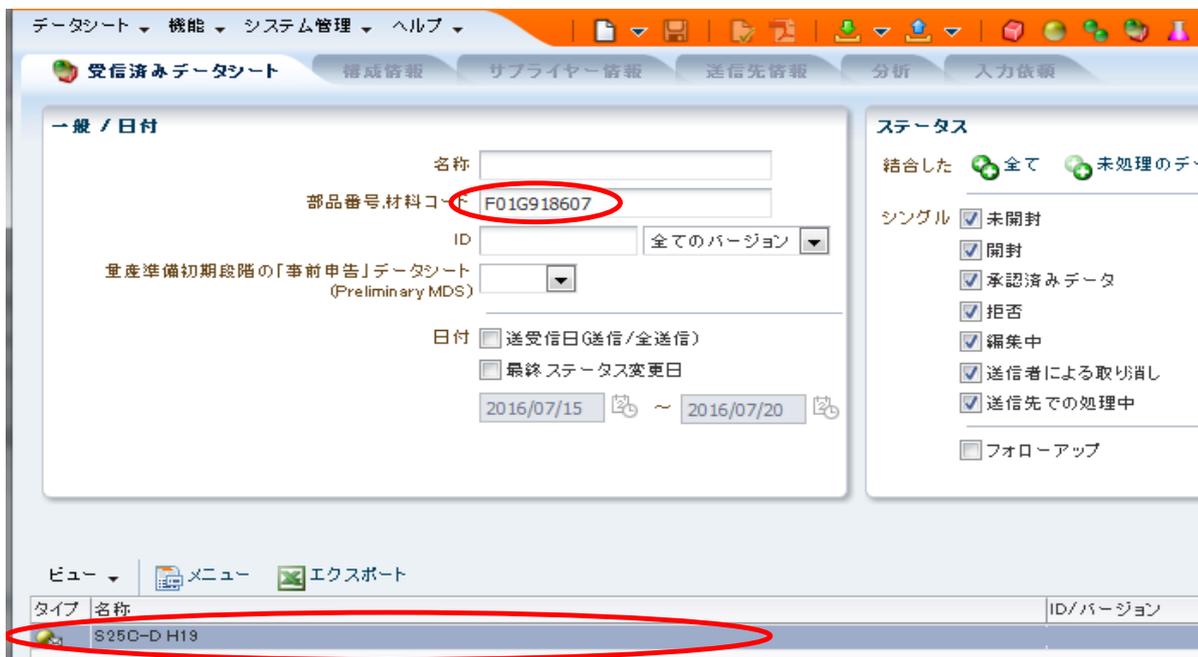


2. 受領データを承認する方法

①受信済み一覧の▼をクリックして、データシートを選択する。



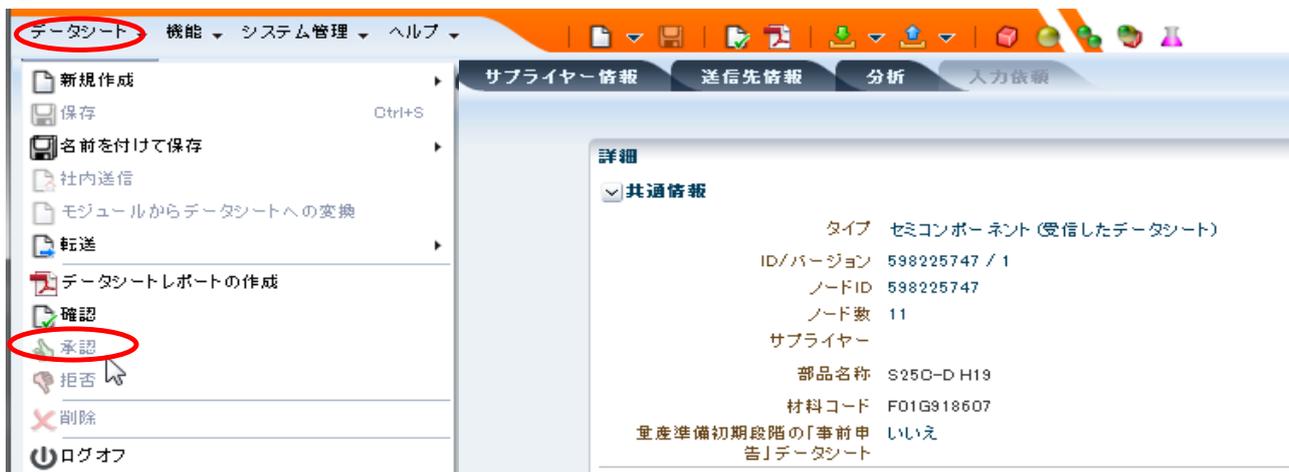
②部品番号、IMDS-IDなどで受領データを検索し、ダブルクリックで詳細を表示する。



④データの内容が以下の要求事項を満たしているか、点検する。

- ・発注仕様やIMDSレコメンデーションに合っているか確認する。
- ・IMDSレコメンデーション
- ・ボッシュIMDS入力ガイドライン

⑤問題無ければ、データシートメニューの承認を実行する。



※ 以上で承認が完了し、データシート作成時に使用可能になります。

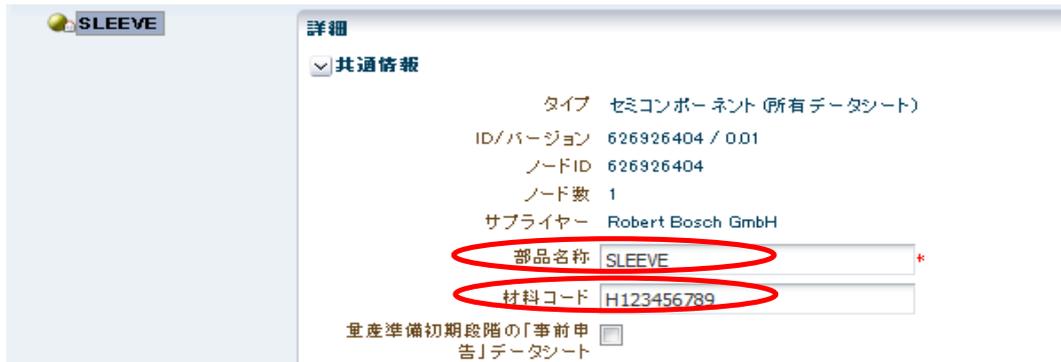
3. セミコンポーネントの作成(素材、半製品の場合)

a. 弊社支給の材料または半製品を使用している場合

①新規作成メニューで、データシート→セミコンポーネントを選択する



②新規のセミコンポーネントが作成されるので、ポッシュ品名、ポッシュ品番を入力する。



③「セミコンポーネント追加」の「参照」をクリックする



④材料コード欄に支給材料品番を入れて検索する

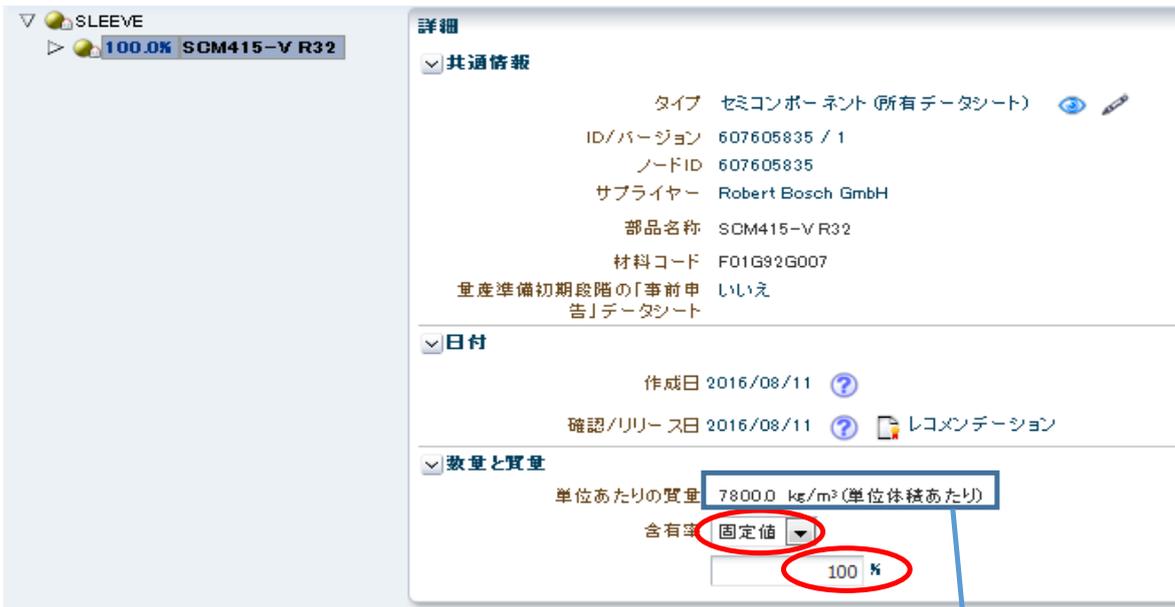
※この時、承認データシートのボックスにチェックを入れてください。



⑤データが見つかったら「適用」をクリックする。



⑥質量と数量の含有率を「固定値」に切り替えて100%にする



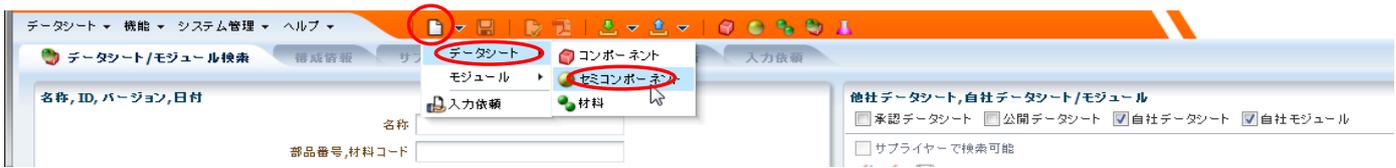
⑦納入品の単位あたりの質量を、支給材料と同じにする



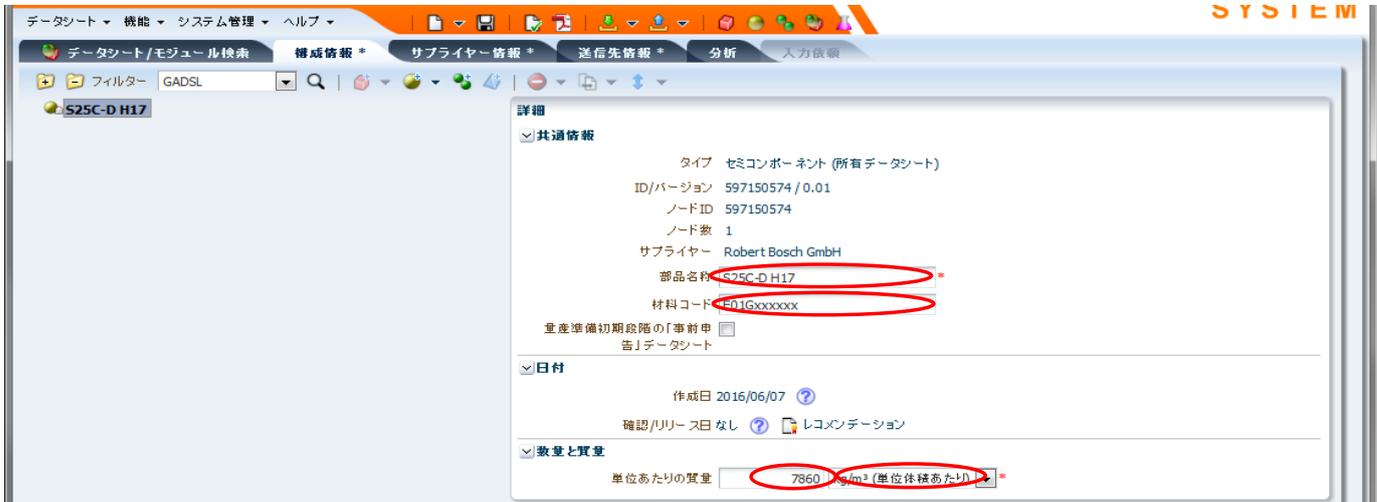
⑧エラーチェックに進む。

b. 自社で調達した材料を使用している場合

①新規作成メニューで、データシート→セミコンポーネントを選択する



②新規のセミコンポーネントが作成されるので、ポッシュ品名、ポッシュ品番、単位あたりの質量を入力する。(原則:単位体積あたり)



③「参照材料の検索」をクリックする



④材料名、IMDS-ID等で材料を検索する。

検索時のチェックボックスの設定は以下のとおり。

		IMDS コミッティー 公開材料	IMDS 受領 材料	自社で 作成の 材料
チェック ボックス の設定	承認データシート		√	
	公開データシート	√		
	自社データシート			√
	自社モジュール			√
	サプライヤーで検索可能	√		
	推奨材料データシート	√		

⑤材料が見つかったら「適用」をクリックする。(例:JIS規格のS25C)

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

名称, ID, バージョン, 日付

名称: S25c

社内材料コード

ID: 最新のバージョン

生産準備初期段階の「事前申告」データシート(Preliminary MDS)

使用言語: 英語

日付 (データシートのみ対象) 公開/承認/社内送信日 作成日(自社データ)

材料規格, 材料記号, 材料分類

商品名

標準材料コード

材料記号

Norm - 🔍 -

材料分類 - 🔍 -

他社データシート, 自社データシート/モジュール

承認データシート 公開データシート 自社データシート 自社データ

サプライヤーで検索可能 推奨材料データシート

サプライヤー	企業ID/組織ID
IMDS-Committee	423
IMDS-Committee / ILI Metals	19986
Stahl und Eisen Liste	313

このユーザーIDで最後に更新

組織

検索

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー
S25C	S25C	-	-	S25C	S25C	16387497 / 3	IMDS-Committee / ILI Metals
S25C	S25C	-	-	-	-	11861421 / 1	IMDS-Committee / ILI Metals

メニュー 見つかった 2 データ

適用 キャンセル

⑥含有率を「固定値」に切り替えて100%にする

データシート > 機能 > システム管理 > ヘルプ

データシート/モジュール検索 構成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析 入力依頼

フィルター GADSL

S25C-D H17

100.0% S25C

詳細 材料の言語 英語

共通情報

タイプ 材料 (公開データシート)

ID/バージョン 16387497 / 3

ノードID 376936789

サプライヤー IMDS-Committee / ILI Metals

名称 S25C

商品名 -

社内材料コード S25C

生産準備初期段階の「事前申告」データシート いいえ

全てのGADSL記載物質を申告しました

日付

作成日 2012/12/20

確認/リリース日 2012/12/20 レコメンドেশョン

数量と質量

含有率 固定値

100 %

⑦エラーチェックに進む

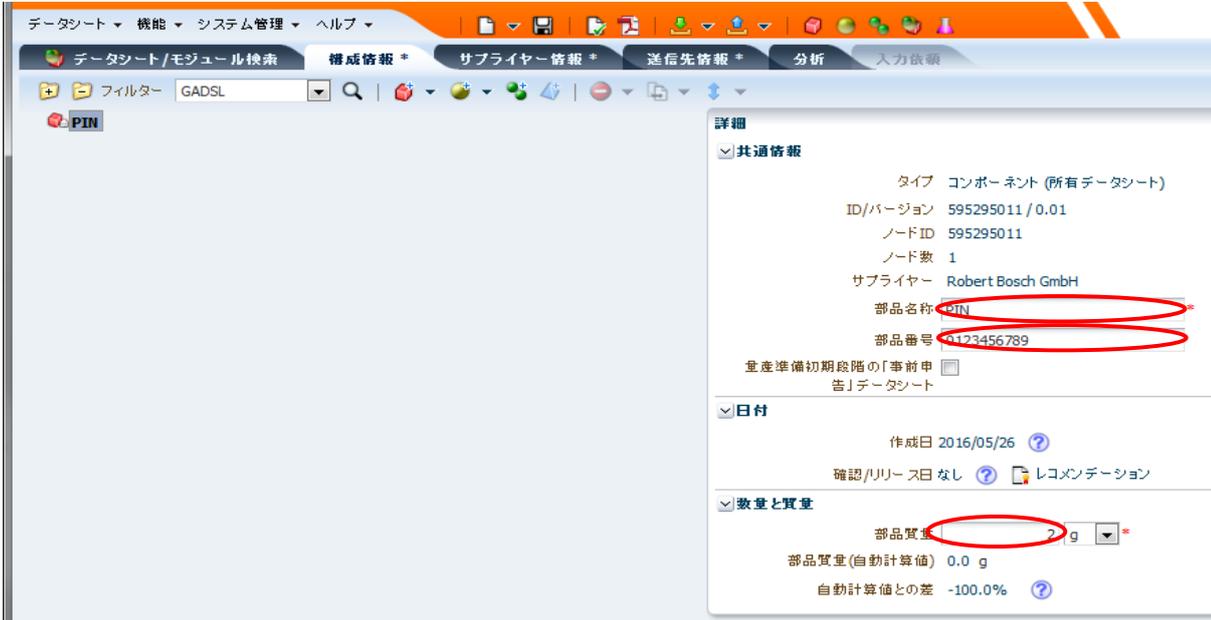
4. コンポーネントの作成(部品の場合)

a. 弊社支給の部品を使用している場合

①新規作成メニューで、データシート→コンポーネントを選択する



②新規のコンポーネントが作成されるので、ボッシュ品名、ボッシュ品番、部品質量を入力する。



③「参照コンポーネントの追加」をクリックする。



④品番、IMDS-ID等で、支給部品のデータを検索する。
※承認データシートのチェックは必ず入れること。



⑤データが見つかったら「適用」をクリックする。

タイプ	部品名称	部品番号	ID/バージョン	サプライヤー
	PIN	H146303000	123465143 / 2	Robert Bosch GmbH

選択行 1 |

メニュー 見つかったデータ 1

⑥部品の個数を入力する

▼ NOZZLE ASSY 詳細

2 PIN

共通情報

タイプ コンポーネント (モジュール)  

ID/バージョン 123465143 / 2

ノードID 413013756

部品名称 PIN

部品番号 H146303000

生産準備初期段階の「事前申告」データシート

日付

作成日 2013/03/01 

確認/リリース日 2013/03/08   レコメンデーション

数量と質量

数量

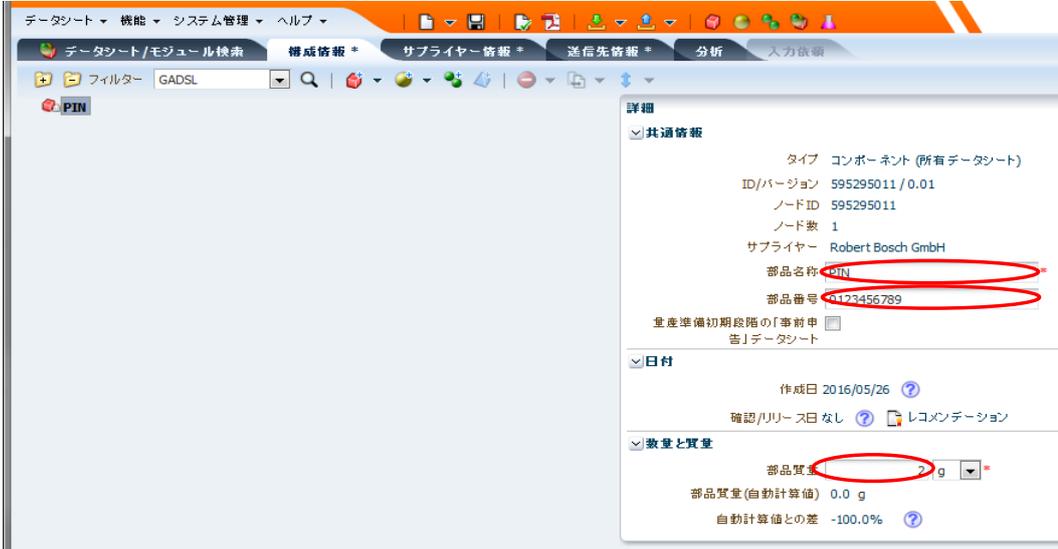
⑦エラーチェックに進む

b. 弊社支給の半製品、材料を使用している場合

①新規作成メニューで、データシート→コンポーネントを選択する



②新規のコンポーネントが作成されるので、ポッシュ品名、ポッシュ品番、部品質量を入力する。



③「参照セミコンポーネントの追加」をクリックする。



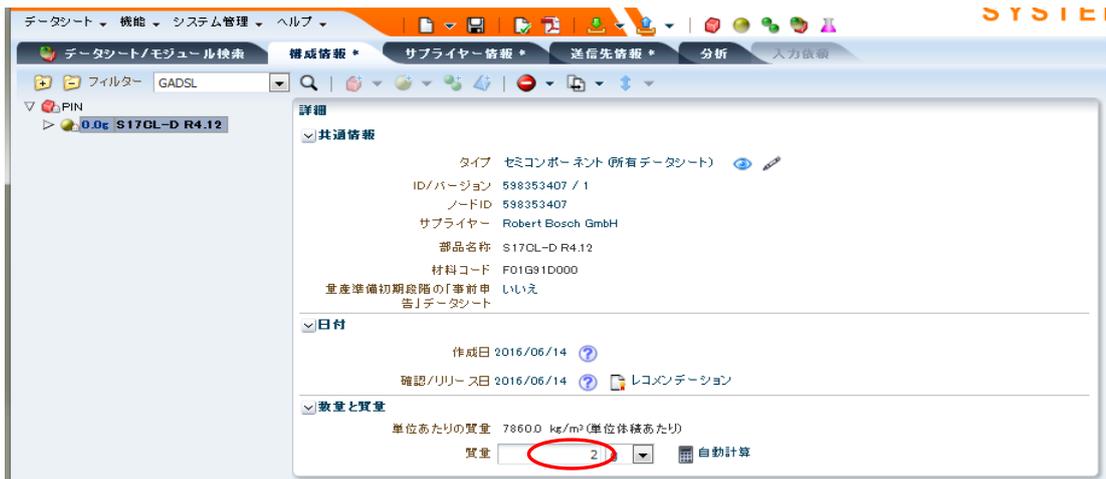
④品番、材料コード、IMDS-ID等で、支給品のデータを検索する。
※承認データシートのチェックは必ず入れること。



⑤データが見つかったら「適用」をクリックする。



⑥材料の質量を入力する



⑦アプリケーションを確認する

セミコンポーネントのマークの左にある△をクリックすると材料が表示される。
材料を選択した時にアプリケーションが表示される場合は、それが正しいか確認する。



※アプリケーションの確認・修正方法はp.25の「アプリケーションの修正方法」を参照

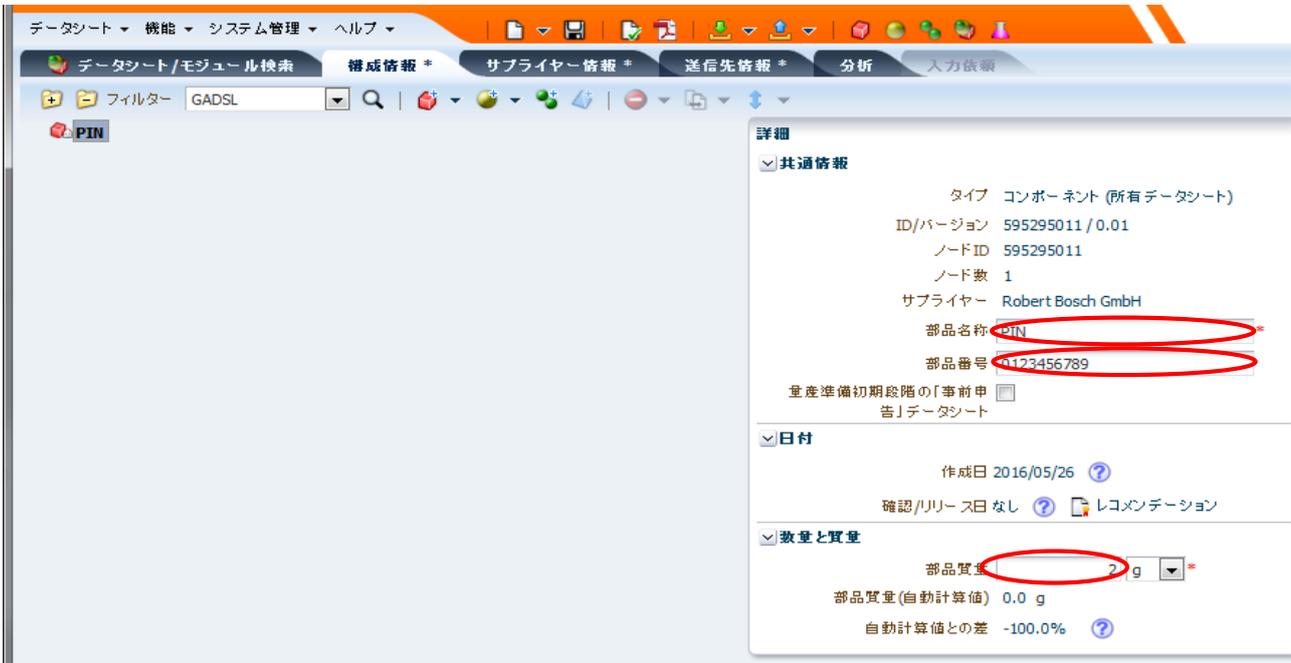
⑧エラーチェックに進む

c. 自社で調達した材料を使用している場合

①新規作成メニューで、データシート→コンポーネントを選択する



②新規のコンポーネントが作成されるので、ポッシュ品名、ポッシュ品番、部品質量を入力する。



③「参照材料の追加」をクリックする。



④材料名、IMDS-ID等で材料を検索する。

検索時のチェックボックスの設定は以下のとおり。

		IMDS コミッティー 公開材料	IMDS 受領 材料	自社で 作成の 材料
チェック ボックス の設定	承認データシート		√	
	公開データシート	√		
	自社データシート			√
	自社モジュール			√
	サプライヤーで検索可能	√		
	推奨材料データシート	√		

⑤データが見つかったら「適用」をクリックする。



⑥部品の個数を入力する



⑦アプリケーションを確認する

支給部品中の材料にアプリケーションが表示される場合、選択が正しいか確認する。



※アプリケーションの確認・修正方法はp.25の「アプリケーションの修正方法」を参照

⑧エラーチェックに進む

5. 材料の追加(めっき、塗装、接着等)

例: 支給材料を加工後に表面処理を追記する方法

同一階層に異なるタイプのノードを存在させないために、実際は存在しないコンポーネントやセミコンポーネントの追加が必要な場合があります。

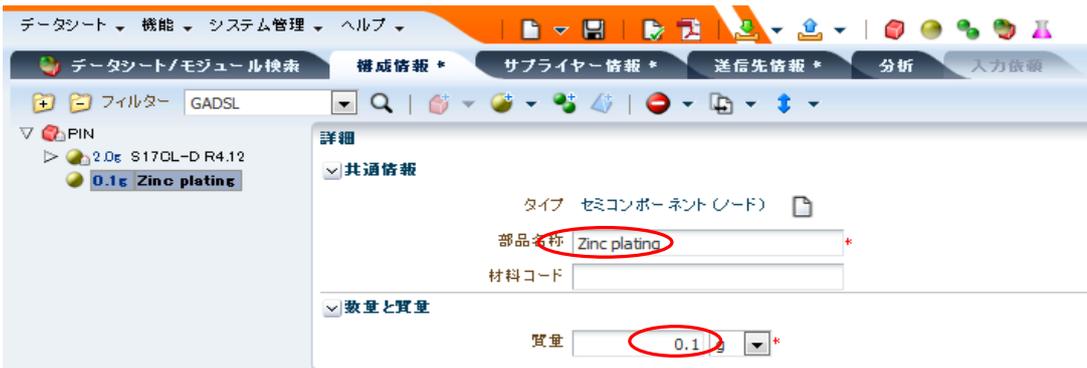
①親ノードのレベルでセミコンポーネントの追加→ノードを選択する。



②ダミーの部品名称の付いたセミコンポーネントができるので、



③適当な部品名称と表面処理の質量を入力する。(材料コードは不要)



④セミコンポーネントに材料データを参照するため、「参照材料の追加」をクリック



⑤表面処理の材料を検索する。(例:電気亜鉛メッキ)

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

名称, ID, バージョン, 日付

名称

社内材料コード

ID 最新のバージョン

生産準備初期段階の「事前申告」データシート(Preliminary MDS)

使用言語

日付 (データシートのみ対象) 公開/承認/社内送信日 作成日(自社データ)

材料規格, 材料記号, 材料分類

商品名

標準材料コード

材料記号

Norm

材料分類

他社データシート, 自社データシート/モジュール

承認データシート 公開データシート 自社データシート 自社モ...

サプライヤーで検索可能 推奨材料データシート

サプライヤー

企業ID/組織ID
IMDS-Committee
IMDS-Committee / ILI Metals
Stahl und Eisen Liste

このユーザーIDで最後に更新

組織

ビュー

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー
<input checked="" type="checkbox"/>	Ep-Zn	-	-	Ep-Zn	-	73281471 / 2	IMDS-Committee / ILI Metals
<input checked="" type="checkbox"/>	Ep-Zn-Fe	-	-	Ep-Zn-Fe	-	73281494 / 2	IMDS-Committee / ILI Metals

⑥材料が追加されるので、含有率を「固定値」に切り替えて100%と入力。

データシート > 機能 > システム管理 > ヘルプ

データシート/モジュール検索

作成情報 * サプライヤー情報 * 送信先情報 * 分析 入力依頼

フィルター GADSL

PIN

- 2.0g S17CL-D R4.12
- 0.1g Zinc plating
- 100.0% Ep-Zn**

詳細

共通情報

タイプ 材料 (公開データシート)

ID/バージョン 73281471 / 2

ノードID 73281553

サプライヤー IMDS-Committee / ILI Metals

名称 Ep-Zn

商品名 -

社内材料コード -

生産準備初期段階の「事前申告」データシート いいえ

全てのGADSL記載物質を申告しました -

日付

作成日 2007/09/23

確認/リリース日 2007/09/23 レコメンデーション

数量と質量

含有率

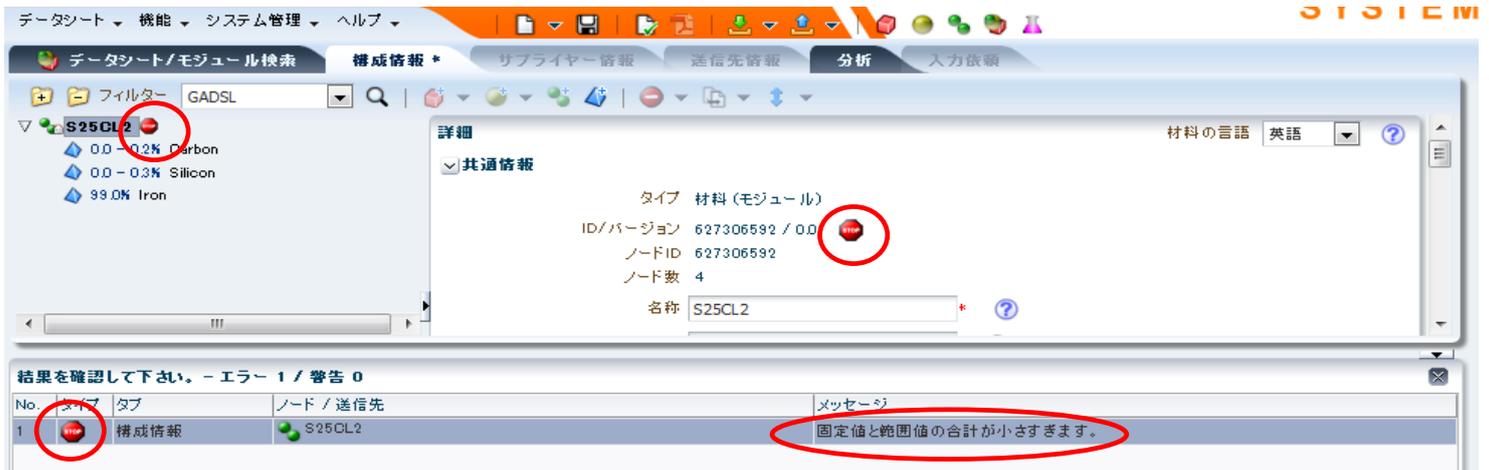
※ 以上で1件追加完了。
表面処理が複数ある場合は手順①からの繰り返す。

6. エラーチェック

①入力が終わったら、エラーチェックを実行する



②チェック結果を確認し、エラーを修正する(例: 材料中の化学物質含有率の合計が100%にならない)



③全て修正すると以下の結果が表示される。



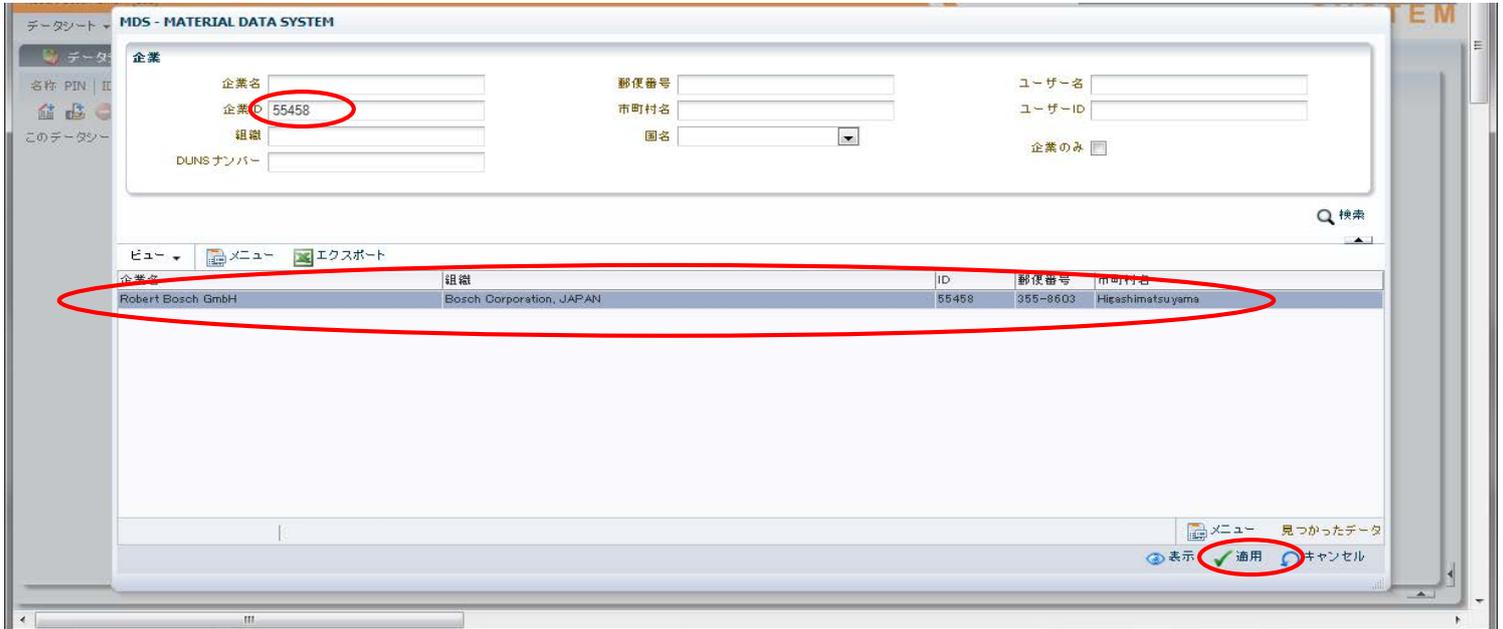
④データ送信に進む。

7. データ送信

①「送信先情報」のページで「送信先の追加」をクリックする。

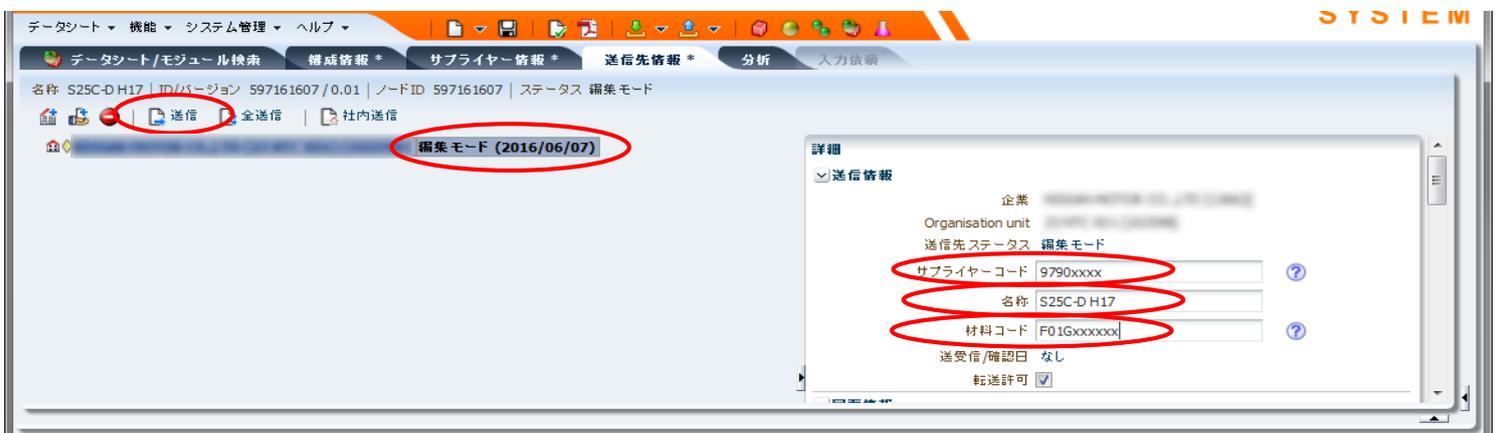


②日本のポッシュからの依頼の場合は、企業ID「55458」で検索して、Bosch Corporation, JAPAN を適用する。



③サプライヤーコード、ポッシュ品名、ポッシュ品番を入力する。

④送信ボタンをクリックする。
(確認画面が出るので、もう一度送信ボタンをクリックする。)

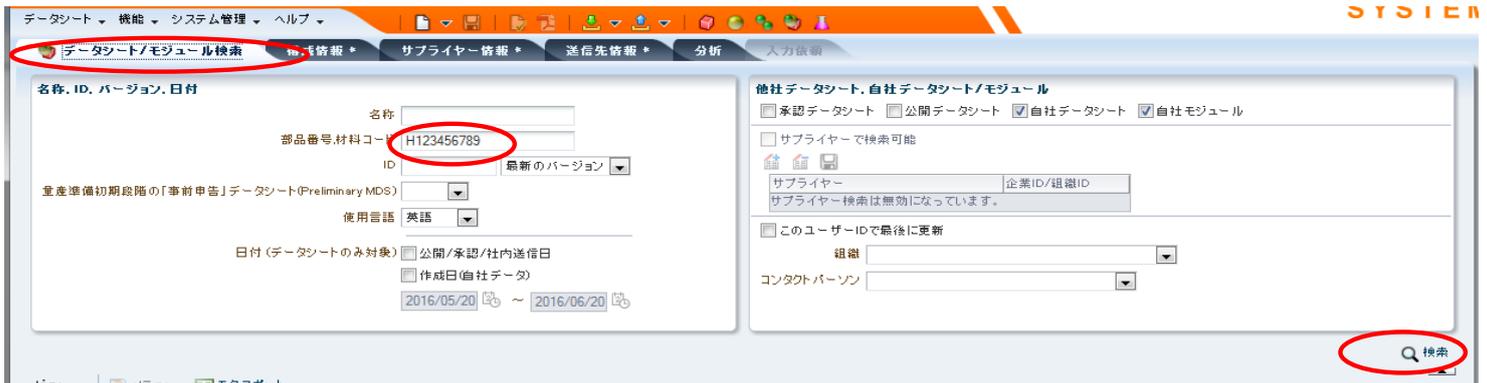


⑤送信先のステータスが「編集モード」から「未開封」に変われば、送信完了。

8. データ修正

・修正の準備

① データシート／モジュール検索画面で、Rejectされたデータを検索する



② ステータスの確認

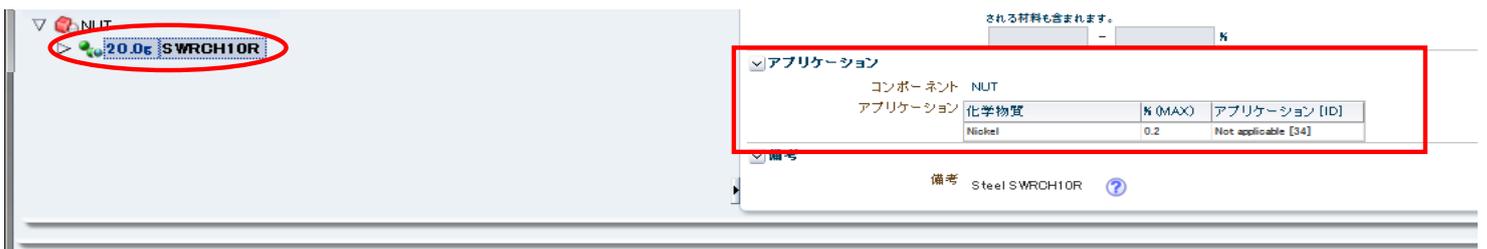
- A. データが承認済み、または社内送信済みの場合
- B. データが編集モードの場合

: 右クリック→コピー→新規バージョン

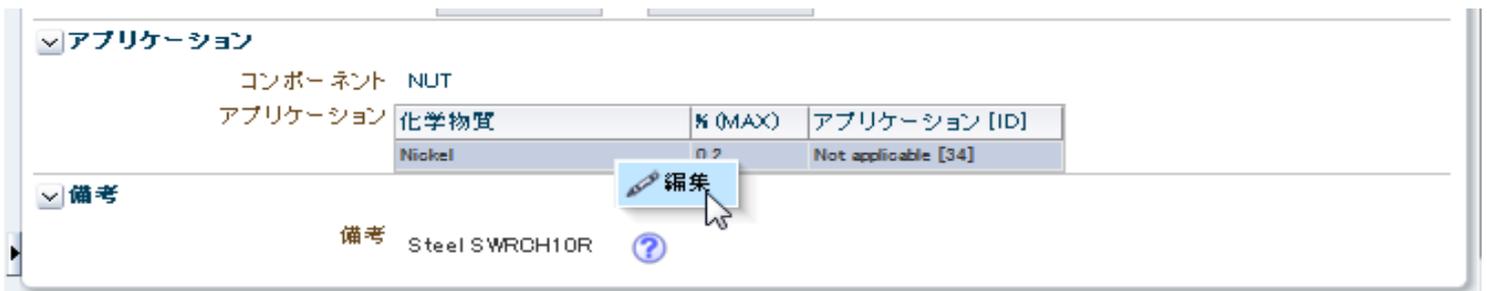
: そのまま編集する

・アプリケーションの修正方法

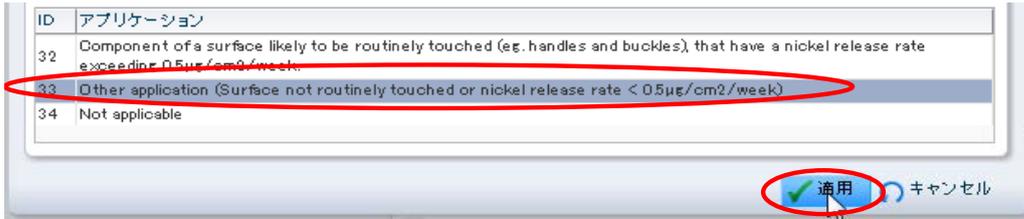
① 材料に対象物質が含まれる場合、詳細情報下部にアプリケーションが表示される



② 対象物質のところで右クリックして、表示された「編集」を左クリックする。



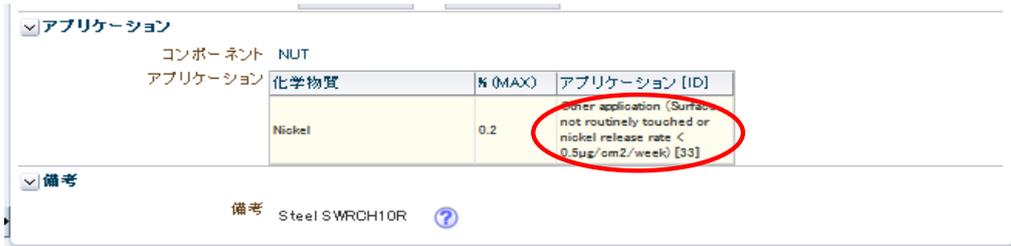
③選択肢の中から該当するものを選び、適用をクリックする。



The screenshot shows a dialog box titled 'アプリケーション' (Application) with a list of options. Option 33, 'Other application (Surface not routinely touched or nickel release rate < 0.5µg/cm2/week)', is highlighted with a red oval. At the bottom right, the '適用' (Apply) button is also circled in red.

ID	アプリケーション
32	Component of a surface likely to be routinely touched (eg. handles and buckles), that have a nickel release rate exceeding 0.5µg/cm2/week.
33	Other application (Surface not routinely touched or nickel release rate < 0.5µg/cm2/week)
34	Not applicable

④修正完了



The screenshot shows the 'アプリケーション' (Application) dialog box with the '備考' (Remarks) field filled with 'Steel SWRCH10R'. The application selection table is visible, with option 33 circled in red.

化学物質	% (MAX)	アプリケーション [ID]
Nickel	0.2	Other application (Surface not routinely touched or nickel release rate < 0.5µg/cm2/week) [33]

<参考>アプリケーションの選択方法

材料参照時には初期値が選択されますので、以下の順序で確認、選択してください。

手順①含有率がGADSLの申告閾値以下→「閾値以下」を選択します

(例:銅合金中の0.1%未満の鉛)

手順②選択肢から適切なものを選びます

(例:鉄鋼中のニッケル→33 その他の用途)

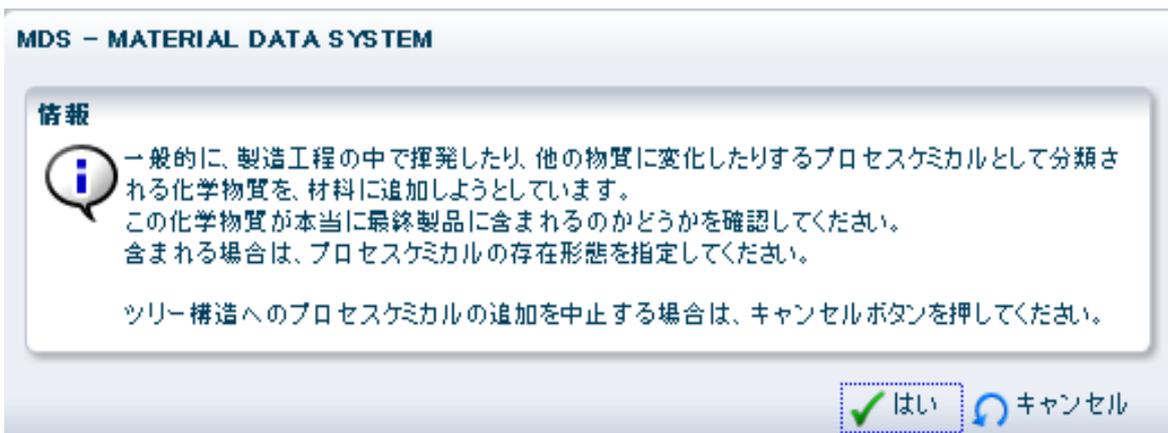
手順③「適用外」以外に選択できるものが無い→「適用外」を選択します

(例:アルミ中のニッケル→34 適用外)

・「プロセスケミカルの存在形態」の回答

① 材料データ作成時、参照化学物質追加画面でプロセスケミカルを選択すると以下の警告が表示されます。

その化学物質が最終製品に含まれる場合のみ、「はい」を選択します。



The screenshot shows a warning dialog box from 'MDS - MATERIAL DATA SYSTEM'. It contains an information icon and text explaining that process chemicals are being added to materials and that users should confirm if they are included in the final product. The 'はい' (Yes) button is highlighted with a dashed box.

情報

一般的に、製造工程の中で揮発したり、他の物質に変化したりするプロセスケミカルとして分類される化学物質を、材料に追加しようとしています。
この化学物質が本当に最終製品に含まれるのかどうかを確認してください。
含まれる場合は、プロセスケミカルの存在形態を指定してください。

ツリー構造へのプロセスケミカルの追加を中止する場合は、キャンセルボタンを押してください。

- ② 参照されたプロセスケミカルを左クリックすると、画面右側下部に「プロセスケミカルの存在形態」の入力欄が表示されます。
▼をクリックして3つの選択肢から適切なものを選んでください。

The screenshot displays a software interface with a search bar at the top left containing 'GADSL'. Below it, a list of search results is shown, with 'Hexachlorobenzene' highlighted in a red oval. The right side of the interface shows a detailed view of the selected chemical. Under the 'プロセスケミカルの存在形態' (Process Chemical Existence Form) section, a dropdown menu is open, showing three options: '意図的使用' (Intentional Use), '反応残留物' (Reaction Residue), and '不純物' (Impurity). The '意図的使用' option is currently selected.

・送信の取り消し

The screenshot shows a software interface with a '送信先情報' (Destination Information) tab selected. A red circle highlights a '送信先' (Destination) icon with a red 'X' over it. A callout box points to this icon with the text: '送信先/入力依頼の削除 を実施します。 ※未承認のデータに限り実施可能です。' (Delete destination/input request. ※Implementation possible only for unapproved data.)

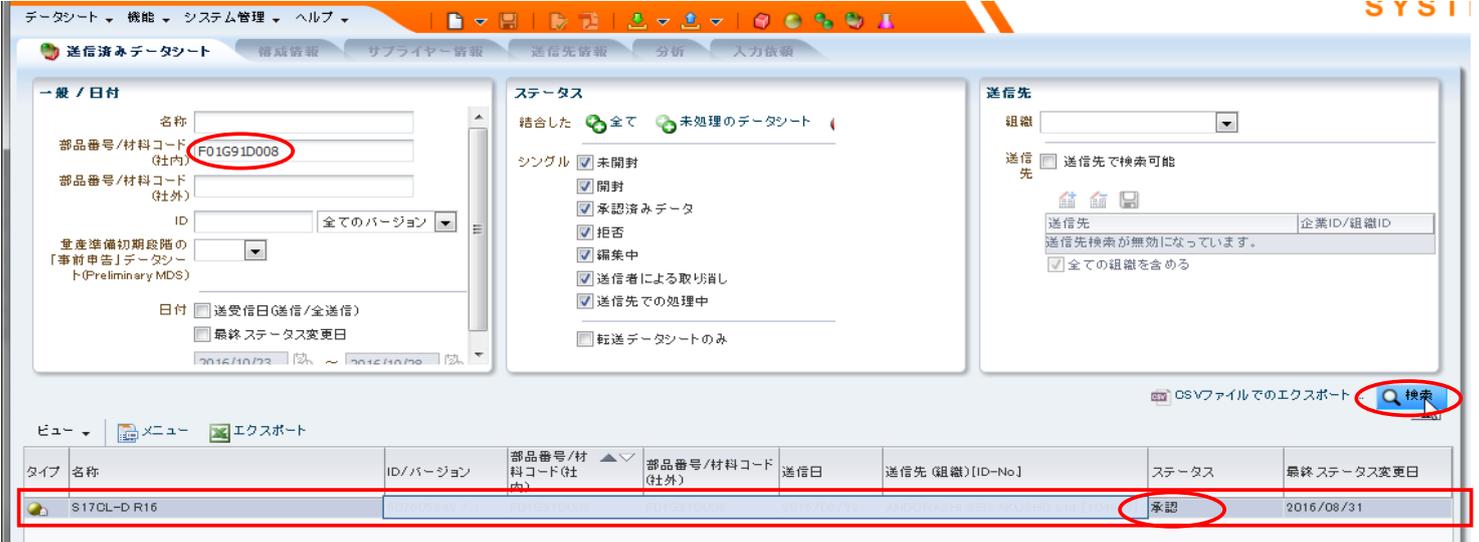
9. 参考

- ・雛形データから簡単に作成する方法
条件:構成材料が同じで、承認済みのデータであること

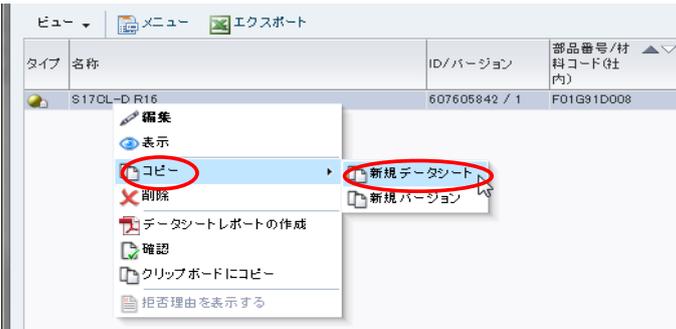
①送信済み一覧→データシートで、検索画面を表示する。



②品番、ID等で送信済みデータを検索する。(ステータスで承認を確認)

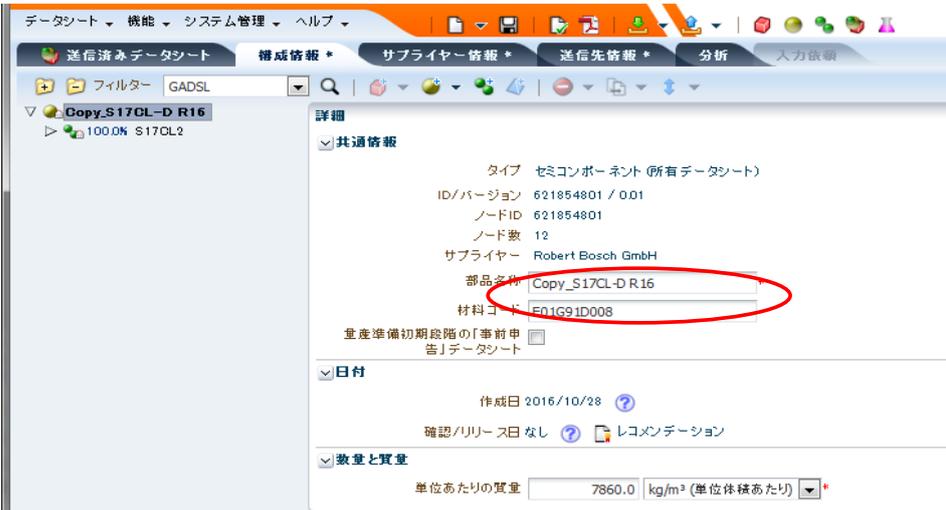


③見つかったデータの行で右クリックして、コピー→新規データシートを選択する。



※ 新規バージョンを選択すると、新規データが作成されずにこのデータが更新されてしまうので注意！

④部品名称、材料コードを修正する。



⑤エラーチェックに進む。